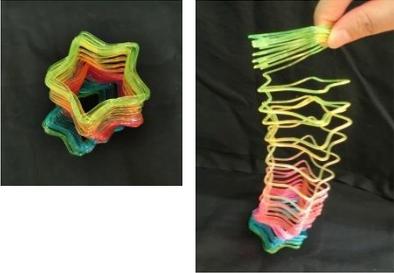
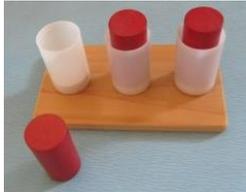


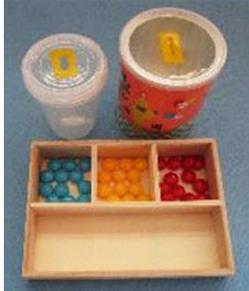
1 ねらいに応じた教材

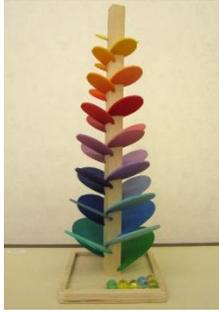
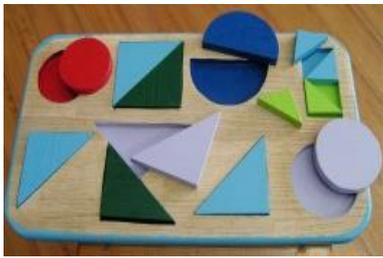
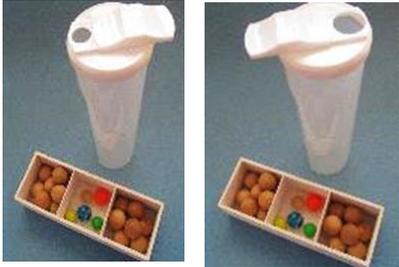
ねらい	教材	説明
感覚に働きかける教材		<p>「へびちゃん」 やわらかい素材の布の中にボールが入っている。ふわふわした感触が心地良い。</p>
		<p>「ブルブルぞうくん」 振動しながら動くおもちゃ。振動刺激に対する気付きや興味・関心を引き出す。途中、一定時間止まるので、振動の有無での表出の違いを見ることがもできる。</p>
追視や注視を促す教材		<p>ぬいぐるみ 分かりやすい色で柔らかい素材で作っているの、触っても心地よい。だるまは、下の部分を押しすと音がなり、音への気付きを促すこともできる。</p>
		<p>アンパンマンうちわ うちわにアンパンマンの顔を描いたもの。人の顔で分かりやすい造形で注目しやすい。</p>
		<p>注目しやすいよう、色を付けた筒。転がすことで色の変化を感じることができる教材。 ※こういった筒状のものであれば、片方から筒に向かって声を出すことで、もう片方を肌にあてると振動を感じることができる。</p>
		<p>〈スリンキー〉 虹のカラーリングや、形状の変化に対して注目、追視を促す教材。 両手で端を交互に操る、階段から落とすとばねが伸縮し下りていく等様々な用途がある。</p>

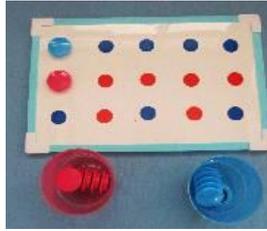
おもちゃや身近なものに手を伸ばす教材	ものを握る		オーボール 全体が網目状になっているので、握りやすく、つかみやすい。
	感覚遊びから音につながる		洗濯板に穴をあけてゴム紐を通し、それにビーズを入れたもの。手を動かすことで、ビーズと洗濯板の感触を楽しむことができる。また、ビーズをつまんだり、引っ張ったり、離したりして音を鳴らすことができる。
	触れると音がなることが分かる		ドンディナ カラフルな色の部分やベルに触れることで簡単に音を鳴らすことができる。
繰り返し動作を促す教材（自分のとらった行動の結果を見て楽しむ）	握る （順手、逆手） 肘の屈曲		引っ張る動きに着目した教材。 絵本(野菜さん)から実際に野菜を再現したみたて遊びにも使える。磁石が底についており、より抜く感覚がわかりやすい。
	原因と結果の関係性		因果性を把握するための教材。 スイッチを押す→光る スイッチを押す→音が鳴る ※発達段階によっては、音を鳴らすことで相手の注意をひく等コミュニケーションの手段としても活用できる(8ヶ月)
	原因と結果の関係性 目と手の協応		バナナスタンドにお花の風車をつけたもの。注目しやすい色合いで手を伸ばして、触れるとくるくる回る。扇風機にスイッチをつけて、風遊びにもなる。

繰り返し動作を促す教材（自分のとった行動を見て楽しむ）	手指の操作 目と手の協応 原因と結果の 関係性 空間認知		軸に輪っかを通して音が鳴る教材。因果性の把握につながる。 軸に輪っかを通して →音が鳴る 段階を追って、下から大きい順に輪っかを通していく。
	手指の操作 原因と結果の 関係性 注目		上のボタンを押すことで、中のものが音を立てて動くことで注目を促す教材。 因果性の把握につながる。 押す→音を立てて動く
	原因と結果の 関係性		小さいバチがくるくると回って、ボンゴをたたくことができる楽器。手指の操作が難しく太鼓などが叩けない場合でも児童に合ったスイッチにつながって鳴らすことができる。因果関係の理解につながる。
	手指の操作 原因と結果の 関係性		パタパタドミノ 一番端から倒して遊ぶ教材。パタパタと倒れる音だけでも楽しめるが、最後のドミノの下にスイッチや楽器を置いても楽しむことができる。少しの力で倒れ、変化がわかりやすいため因果関係の理解へとつなげることができる。
ものごとの関連づけを促す教材	手指の操作 目と手の協応 探索		ペグさし
	目と手の協応 手指の操作 探索		マジックテープがはってある土台に細かなパーツを張り付けていく教材。場所によってはマジックテープがついていないところがあるため、視覚的な観察をする必要がある。

ものごとの関連づけを促す教材

<p>手と目の協応 手指の巧緻性</p>		<p>ちぎったり、くっつけたりする教材。</p> <p>マジックテープでくっついているため、ちぎる際には、つまむ力、握る力が必要となる。</p> <p>また、1つ1つ音が鳴るように作成されているため、音を楽しむことができる。</p>
<p>手指の操作 目と手の協応 空間認知 色の弁別</p>		<p>輪っかをつまみ、棒に上から通す。</p> <p>段階を追って、色のついた輪っかをシールと同じ色の棒に通す。 (2～5歳)</p>
<p>手指の操作 目と手の協応 探索 始点と終点の理解</p>		<p>穴の位置を探索し、玉を穴の中に落とす。</p> <p>穴の大小により、押し込む際の力が必要になる。</p>
<p>手指の操作 目と手の協応 始点と終点の理解</p>		<p>貯金箱 初期にはコインの穴を横向きで使用し、段階を追って手首の回旋の動きを引き出すためにコインの穴を縦方向に向ける。</p>
<p>手指の操作 特に指の力を使う 始点と終点の理解</p>		<p>狭い切れ目に指で押し込む。少し広めのものから始めて、段階を追って狭いものを使用。切れ目が狭いほど、押し込む指の力が必要になる。</p> <p>また、切れ目の向きを変えることで、手首の回旋と、力の入れ方の調節が必要になる。</p>
<p>手指の操作 目と手の協応 始点と終点の理解</p>		<p>コロコロボール 玉をつかみ、レールに玉を落とす。 玉が下まで転がっている様子を楽しむことができる。</p>

	<p>注目・追視 手指の操作性 目と手の協応 始点と終点の 理解</p>		<p>カラコロツリー(大・小) 親指と人差し指を輪っかにして物をつまむ能力をのばす。 ビー玉が転がっている時の様子や音を楽しむことができる。</p>
	<p>手指の操作 目と手の協応 空間認知 色の弁別</p>		<p>駒をつまみ、棒の上のにせる。 段階を追って、色のついた駒をシールと同じ色の棒の上のにせる。 (2～5歳)</p>
<p>道具を操作する教材 (形を理解する)</p>	<p>手指の操作 目と手と協応 形と色の弁別</p>		<p>同じ形の所に入れていく。はめ板とはめ込む場所を同じ色にしているの ので、わかりやすい。 手先や腕のコントロールが難しい場合、取ってつきのものにする と操作しやすくなることもある。</p>
	<p>手指の操作 目と手の協応 形の弁別 空間認知</p>		<p>大きさの違う穴に、それぞれ合う玉を判断して入れる。</p>
	<p>手指の操作性 目と手の協応 形の弁別 空間認知</p>		<p>立体パズルボックス 形が合っても、方向が違えば入らないため、はめ板よりも難しい課題になる。</p>
	<p>手指の操作 目と手の協応 空間認知 色の弁別 始点と終点の 理解</p>		<p>穴の空いたブロックをつかみ、棒の位置、穴の位置を考えてさす。手前左から順に右側へさす、手前右から順に左側へさす、数を数えながらさす等、左右前後の認識や数の概念につなげる。また、棒とブロックに色をつけているので、色の弁別にもなる。</p>

見比べる・仲間集め（色や平面図形を理解する教材）	手指の操作 目と手の協応 色のマッチング		2色のマグネットをそれぞれ同じ色のシールの上にくっつける。また、くっつけたマグネットをそれぞれの色のカップに戻す。
	目と手の協応 マッチング 手指の操作		写真と具体物のマッチング
	手指の操作 目と手の協応 色の弁別 数の概念		5色の弁別 1こずつつまんで見本の色と同じ場所に入れていく。 色の場所はその時によって変えられるため、手元をよく見ながら取り組む必要がある。
ビーズ通し・創作遊び・数の概念の教材	手指の操作 感覚ー運動的に三次元空間を把握する		輪っかを抜いたり通したりする。スタンドのカーブの部分を通す時には手首のひねりが必要になるため、手首を回す動きを促す教材。また、二次元から三次元空間へのステップアップを図る。
	触って形や大きさを認知する 手指の操作 目と手の協応 数の概念		触察絵本 見えにくさのある子どもにも見やすいコントラスト絵本。 ボタンのかけ外し、ひも通し、ひも結びや、魚の数を数える等、さまざまなねらいに沿って活用できる教材。

(参考文献)

「障害の重い子どもへのかかわりハンドブック」(全国心身障害児福祉財団) 橋本正巳

「誰でも使える教材ボックス」(学苑社) 奈良県立奈良養護学校

「赤ちゃんの発達地図」(メディカ出版) 木原秀樹